

防災教育について

校長 館岡 靖哲

初夏のさわやかな風がこちよい季節となりました。早いもので1学期の折り返し点を迎え、生徒一人ひとりが生活のリズムを確立し、授業や部活動にも熱心に参加し、学校全体が活気づいています。5月24日(金)には、体育祭を実施しました。5月実施ということで準備期間も短く、天候にも左右される中、体育委員会の生徒を中心に熱心に準備を進めて、生徒主体のすばらしい体育祭となりました。保護者・地域の皆様には、開会の時から温かいご声援をいただき、本当にありがとうございました。そして、6月1日(土)からは3年生最後の公式戦となる学校総合体育大会が始まります。大いなる健闘を祈りたいと思います。

ところで、今年の1月に発生した能登半島地震は記憶に新しいものです。首都直下地震、東海地震、南海地震等の危険性が指摘され、他人事ではない状況でもあります。そんな中、内閣府の防災情報のページには、防災教育の特集が掲載されています。一部を抜粋します。

「防災教育」といっても、「これまで学校などで防災教育を受けたことがあるか」の質問には、多くの人が「避難訓練をやった程度」としか答えない。もちろん、学校や地域、職場などで熱心に取組んでいるところ、家庭によってはかなりの備えをしているところもあり、一概にはいえないが、他の教科の「教育」に比べて明らかに少ないだろう。

内閣府 防災情報のページより

平成23年3月11日に発生した東日本大震災では、多くの子どもたちが懸命に避難をし、自分の命を守り抜きました。そして、中学生が率先して避難する様子を見て、周りの小学生や地域の人たちも避難し、多くの人の命を守ることに繋がったことが伝えられています。また、避難所で水汲みや物資の運搬や掃除、小さい子の相手、地域で食料の配布など、自分自身も被災し苦しい環境にある中でも「自分にできること」を考え行動した多くの中学生の姿に、地域の方々も勇気づけられたとのことでした。本校も防災教育の一環として「災害の状況に応じて、的確な判断の下に、自らの安全を確保するための行動ができる生徒」更には「災害発生時及び事後に、進んで地域に貢献する生徒」の育成に力を入れてまいります。

ところで学校運営協議会や地域の方々との会合の場で、災害発生時の中学生の役割について話題となることが多くなりました。災害時に生徒が地域に貢献するためには、日頃から地域を知ること、そして地域の方々と顔見知りになることが大切です。そのためにも、地域の様々な活動やお祭り等の行事に生徒の参加を促していきたいと考えています。生徒が参加できる行事やボランティア活動等がございましたら、お知らせください。

◎生徒の参加を募集している主な地域の活動や行事(6月3日時点での情報です)

6月9日(土) AM 避難所運営訓練(本校体育館、上落合小体育館にて)

7月13日(土) PM 上落合地区夏祭り・中学生神輿等

9月14日(土) PM 下落合地区夏祭り・中学生神輿等

夏季休業中 下落合・上落合公民館主催 中学生ボランティア活動